



大規模畑地帯における取組

ごほない まっかりむら
御保内みどり会（北海道真狩村）

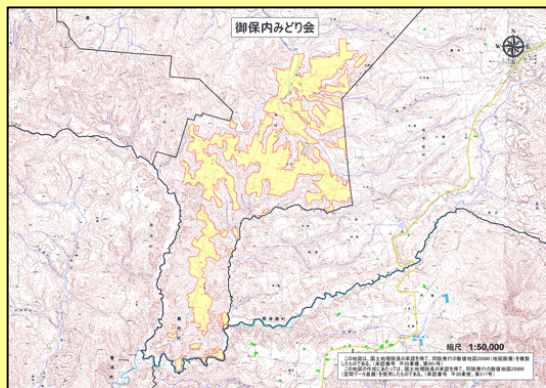
- 農地・水保全管理支払の活動を契機として、地域共同による農地・農業用水等の保全管理体制を構築。これにより、農地や農道法面の草刈りなどの作業を共同で行う意識が強まり、地域資源が適切に保全。
- また、非農家も含む集落共同の活動により景観作物の作付などが行われ、良好な農村景観を創出。
- さらに、地域の水田において小学校と連携し、伝統的農法による景観形成を目的に田植えから刈り取りまで実施する取組を実施。小学校においても食育のプログラムとして取り組んでいることから、今後も連携活動を継続する意向。

【地区概要】

- ・取組面積 764ha
（田 3ha、畑 710ha、草地 51ha）
- ・資源量 農道 48.6km
- ・主な構成員
農業者、自治会、女性会、その他
- ・交付金 約10百万円（H29）

（農地維持支払
資源向上支払（共同））

主な取組内容



農道の補修・更新



景観形成活動



小学校との連携

・地区の9割以上を占める畑地において、特産のゆり根を中心とした営農を展開。

（砂利の補充、側溝の泥上、路肩、法面の草刈り等）

（ひまわり等の植栽による景観形成活動）

（田植え、稲刈、はさかけの体験による伝統農法の保全）